



文責 本宮小学校長 佐久間仁

夢と希望をはぐくむ

校地内の木々が新芽を伸ばす時期となりました。

子どもたちは、新しい環境の中、新たな目標をもち、積極的に活動を始めています。高学年は鼓笛や陸上、委員会の活動に進んで取り組みなど、自ら考え、判断し、行動する姿が見られ、頼もしさを感じています。

さて、今年度の学校経営・運営の基本方針ですが、教育目標「考える子・思いやりのある子・やりぬく子」夢と希望をはぐくむ学校の下、目指す具体的な子ども達の姿をそれぞれ設定しました。

そしてその実現に向け、重点実践事項を設けて、様々な教育活動に取り組んでいくこととしました。「考える子」では、「個に応じた



学び」「協働的な学び」「次の学びにつながる」を意識しながらわかる・できる授業づくりを進めます。

「思いやりのある子」では、「あいさつ」「子どもが主体」「責任意識の醸成」に焦点をあてながら、自他を大切にし、助け合う姿を目指します。

「やりぬく子」では、「体力づくり」「健康教育・食育」「安全指導」を大切にしながら、心身ともに健康な子を育ててまいります。

ご家庭におきましては、「家庭学習（自学自習）の習慣化」「あいさつ運動の推進」「早寝・早起き・朝ご飯（基本的な生活習慣）の定着」「治療率（むし歯等）の向上」にご協力をお願いします。

特に、「あいさつ」は学校と家庭が連携して、よりよい習慣づくりに努めてまいります。子どもたちが進んであいさつをすること、家庭・地域にあいさつの輪が広がり、皆様が笑顔になっていただけたいです。学校では、「あかるく・いつでも・さきに・つづけて（つたわるように）」を合言葉に指導してまいります。

ご家庭でも、進んで「おはよう」「ありがとう」「ごめんさい」などが言える子を育てるために、折に触れて褒め、励ましていただきますようお願いいたします。

学校に慣れてきました

一年生が入学して十日ほどたちました。

朝は、集団登校で、班長さんや高学年のお兄さん、お姉さんにお世話をしてもらいながら、安全に学校まで来ることができています。学校に着くと、着替えの仕方や、学習の準備・片付けの仕方を覚えるなど、少しずつ学校生活に慣れてきました。

給食では、苦手なものがあると、量を調節するなど、できるだけ残さず食べようとする姿がみられます。教科書を使って学習することを楽しんで思いますが、まずは学習に取り組むための基盤となる生活習慣（食習慣）が身に付くよう、繰り返し指導してまいります。

学校では、緊張の連続で、疲れて帰ると思いますので、ご家庭におかれましては、できるだけ早めに就寝するなど毎日元気に登校できるように配慮をお願いします。



給食おいしいな

自分の命は自分で守る

交通安全教室・校外子ども会が行われました。

交通安全専門員の方をお迎えして、六年生に交通安全推進員の委嘱状を交付していただきました。専門員の方からは交通事故を防ぐために「とまる・みる・まつ」が大切というお話をいただきました。

校外子ども会では、さっそく登校班で安全な歩行の仕方を話し合いました。その後、地区の担当の先生と一緒に危険箇所などを確認しながら安全に下校しました。

子どもたちの様子を見ていますと、左右をよく確認しないまま、道路を横断する姿が見られます。道路を横断する前はもちろん、横断中も周りの状況を注意深く見るなど、自分自身を安全をよく確かめながら渡るよう指導してまいります。ご家庭でも、外出する際には「車に気をつけて」の一声をかけていただくようお願いいたします。



ルールを守ります

